



Power over Ethernet Fader for MTX/MRX

LF16M-PoE

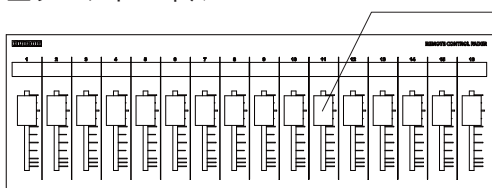
取扱説明書



LFシリーズの特徴

LF16M-PoEはヤマハ社の「MTX3/MTX5-D/MRX7-D」に対応したボリュームコントローラーです。入力/出力のフェーダー設定をディップスイッチにて切り替えることができます。また、IEEE802.3af対応のスイッチングハブと接続することによりACアダプターが不要になります。

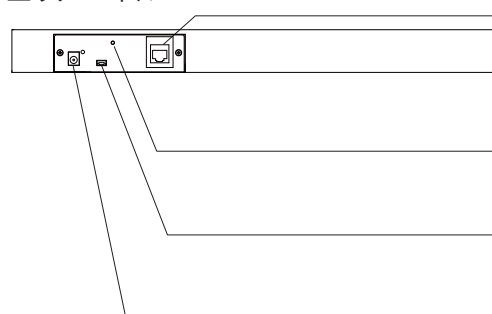
■フロントパネル



フェーダー

16ch分のボリュームがコントロールできます。
ボトムパネルにあるDIPスイッチでコントロールする信号を切り替えることができます。

■リアパネル



RJ45端子(PoE対応)

MTX/MRX7-Dのコントロールデータを出力します。
IEEE802.3af対応のスイッチングハブと接続することによりACアダプターが不要になります。
配線にはCAT5e以上のLANケーブルをご使用ください。

M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

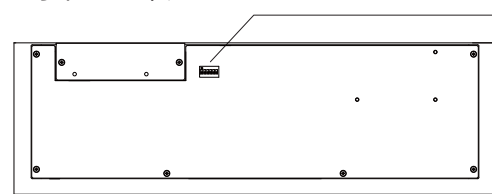
USB端子

ファームウェアアップデート用です。使用しないで下さい。

DC IN端子

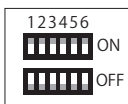
接続機器がPoE給電非対応の場合は、付属品のACアダプターを接続してください。
※PoE給電を受けている場合も、ACアダプターをご併用頂いて問題ございません。

■ボトムパネル



DIPスイッチ

- ・MTXとMRX7-Dを接続した場合でDIPスイッチの動作が異なります。
 - ・MTXを接続した場合はP2のDIPスイッチ設定を参照してください。
 - ・1台のMTXに対して複数台の本体を接続することはできません。
 - ・本体とMRX7-Dを1対1で接続する場合、全てのDIPスイッチをOFFに設定してください。
 - ・1台のMRX7-Dに対して複数台の本体を接続する場合はP3のDIPスイッチ設定をご参照ください。
- ※複数台での接続は4台まで動作確認をしております。



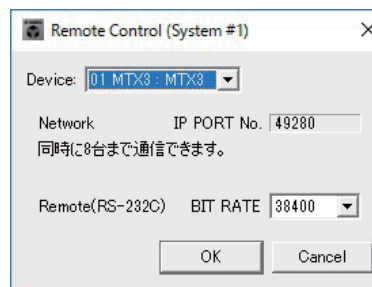
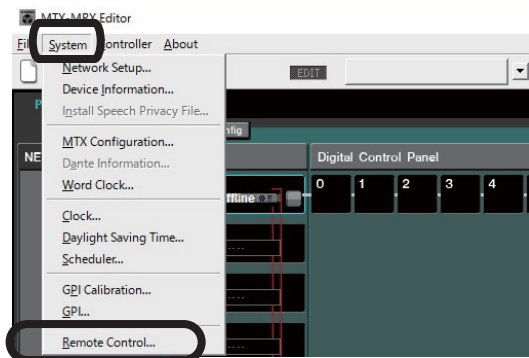
IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF-MのIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。
初期設定でIPアドレス192.168.0.1のMTX/MRXをコントロールすることができます。
LF-MのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先のMTX/MRXのIPアドレスを変更した場合は同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

仕様

出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
PoE受電	:IEEE802.3af
IPアドレス初期値	:192.168.0.168
IPポート初期値	:49280
電源電圧	:9V/0.3A
付属品	:ACアダプター
塗装	:黒
サイズ	:W410×H36×D132
重量	:2.2kg

MTX3/MTX5の設定方法



- ①MTX Editorを起動しSystemタブからRemote Controlをクリックします。
- ②機器が複数台接続されている場合はリモートコントロールしたいMTXのIPアドレスを192.168.0.1に設定し、DeviceのIP PORT No.49280に設定してください。

IPアドレスを192.168.0.1から変更する場合はMTXの取扱説明書をご参照ください。
 またMTXのIPアドレスを変更されますと、LFフェーダーのコントロール先のIPアドレスを変更する必要があります。
 その場合は、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

DSPの設定は以上で完了です。

■本体のDIPスイッチ設定

ご使用になりたいリモートコントロールチャンネルにあわせて、DIPスイッチの設定を変更してください。

DIPスイッチ設定

123456	LF08M	LF16M	LF24M
123456	CH1~8	CH1~16	CH1~24
123456	CH1~6,ST1,ZONE1	CH1~8,ST1,ST2,ST3,EFF1,EFF2,ZONE1,ZONE3,ZONES	CH1~16,ST1,ST2,ST3,EFF1,EFF2,ZONE1,ZONE3,ZONES
123456	CH1~6,ST1,DCA1	CH1~8,ST1,ST2,ST3,EFF1,EFF2,DCA1,DCA2,DCA3	CH1~16,ST1,ST2,ST3,EFF1,EFF2,DCA1,DCA2,DCA3
123456	CH1~6,EFF1,DCA1	CH1~8,DCA1~6,EFF1,DCA1	CH1~16,DCA1~6,EFF1,DCA1
123456	CH1~5,EFF1,DCA1,DCA2	CH1~8,DCA1~5,EFF1,DCA1,DCA2	CH1~16,DCA1~5,EFF1,DCA1,DCA2
123456	DCA1~8	CH1~8,DCA1~8	CH1~16,DCA1~8
123456	DCA1~7,DCA1	CH1~8,DCA1~7,DCA1	CH1~16,DCA1~7,DCA1
123456	DCA1~6,DCA1~2	CH1~8,DCA1~6,DCA1~2	CH1~16,DCA1~6,DCA1~2
123456	DCA1~5,DCA1~3	CH1~8,DCA1~5,DCA1~3	CH1~16,DCA1~5,DCA1~3
123456	DCA1~4,DCA1~4	CH1~8,DCA1~4,DCA1~4	CH1~16,DCA1~4,DCA1~4
123456	DCA1~3,DCA1~5	CH1~8,DCA1~3,DCA1~5	CH1~16,DCA1~3,DCA1~5
123456	DCA1~2,DCA1~6	CH1~8,DCA1~2,DCA1~6	CH1~16,DCA1~2,DCA1~6
123456	DCA1,DCA1~7	CH1~8,DCA1,DCA1~7	CH1~16,DCA1,DCA1~7
123456	DCA1~8	CH1~8,DCA1~8	CH1~16,DCA1~8

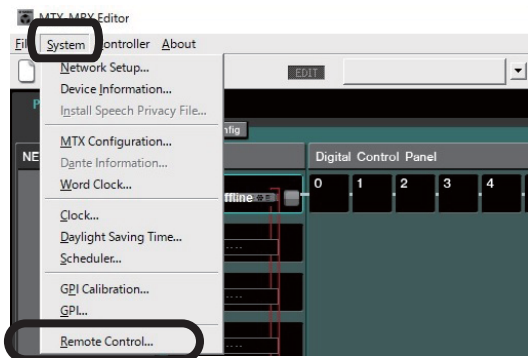


DIPスイッチの5,6は必ずOFFに設定してください。

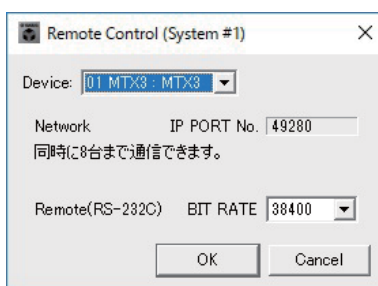
※細字はINPUTチャンネルのコントロール、太字はOUTPUTチャンネルのコントロールとなります。

MTX使用時は複数台のフェーダーを接続することはできません。

MRX7-Dの設定方法



①MTX Editorを起動しSystemタブからRemote Controlをクリックします。



②機器が複数台接続されている場合はリモートコントロールしたいMRX7-DのIPアドレスを192.168.0.1に設定し、DeviceのIP PORT No.49280に設定してください。

IPアドレスを192.168.0.1から変更する場合はMRX7-Dの取扱説明書をご参照ください。
またMRX7-DのIPアドレスを変更されると、LFフェーダーのコントロール先のIPアドレスを変更する必要があります。
その場合は、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

■本体のDIPスイッチ設定



本体とMRX7-Dを1対1で接続する時はDIPスイッチの設定を1~6全てOFFに設定してください。
フェーダー1chから順にMRX7-DのリモートコントロールNo1をコントロールします。

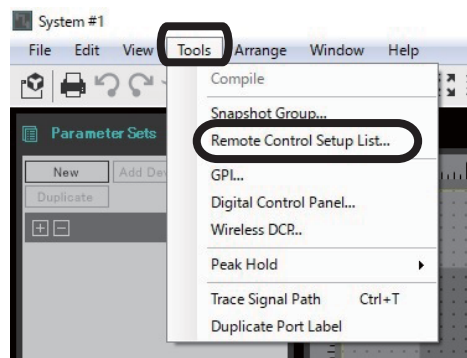
1台のDSPに対して、複数台のフェーダーを使用する場合、DIPスイッチとIPアドレスの設定が必要となります。
DIPスイッチの設定により、コントロールするチャンネル番号の設定が異なります。詳しくは下記表をご確認ください。

フェーダーのIPアドレスを変更する方法については、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

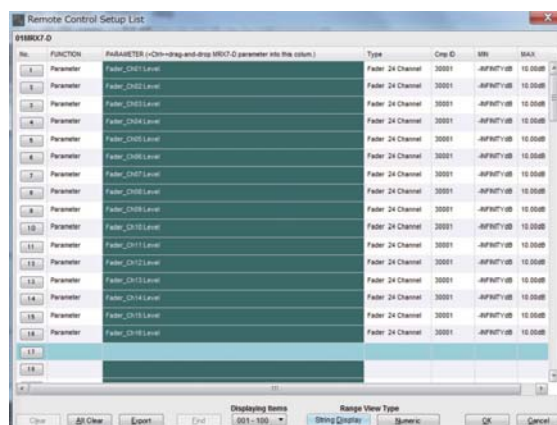
■複数台のフェーダーを接続する場合のDIPスイッチ設定

Remote Control Setup Listの対応No.		LF08	LF16	LF24
1 2 3 4 5 6		1~8	1~16	1~24
		9~16	17~32	25~48
		17~24	33~48	49~72
		25~32	49~64	73~96
		33~40	65~80	97~120
		41~48	81~96	121~144
		49~56	97~112	145~168

DIPスイッチの組み合わせによる接続例はP4を確認してください。



③制御するMRX7-Dのコンポーネント画面を開きメニューバーのToolsからRemote Control Setup listを選択します。

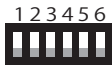


④制御したいパラメーターをアサインし、OKを押します。
上記画像はフェーダーコンポーネント16ch分のレベルをLFフェーダーにアサインした例です。

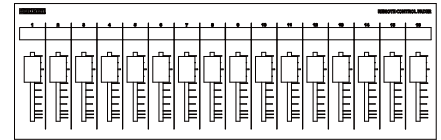
DSPの設定は以上で完了です。

例) LF16Mを2台同時に接続する時

① 1台目のLF16Mを、DIPスイッチ全OFFに設定する。

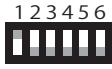


LF16Mのch1でRemote Control Setup ListのNo.1を操作
LF16Mのch2でRemote Control Setup ListのNo.2を操作
以下同様に16までとなります。

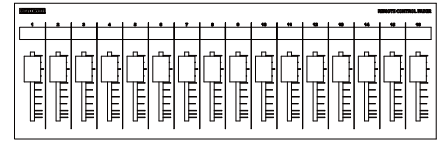


①No.1～16を操作する

② 2台目のLF16Mを、DIPスイッチ 1のみONに設定する。



LF16Mのch1でRemote Control Setup ListのNo.17を操作
LF16Mのch2でRemote Control Setup ListのNo.18を操作
以下同様に32までとなります。



②No.17～32を操作する

③変更されたRemote Control Setup Listのアサイン方法は、P3の③④をご確認ください。

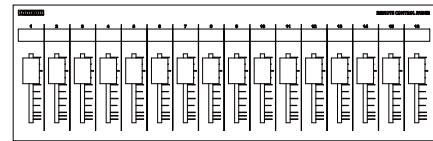
※注意 誤動作の原因になりますので、以下の点にお気を付けください。

複数台のフェーダー間で、Remote Control Setup ListのNoが重複しないようにDIPスイッチを設定してください。

組み合わせ使用できないDIPスイッチの例

① 1台目のLF16Mを、DIPスイッチ全OFFに設定する。

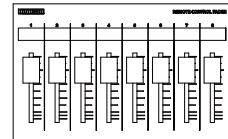
LF16Mのch1でRemote Control Setup ListのNo.1を操作
LF16Mのch2でRemote Control Setup ListのNo.2を操作
以下同様に16までとなります。



①No.1～16を操作する

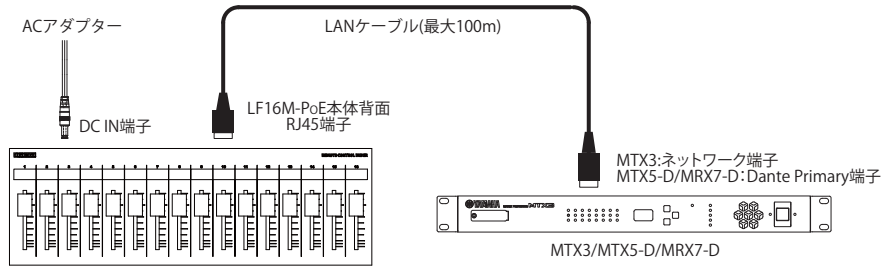
② 2台目のLF08Mを、DIPスイッチ 1のみONに設定する。

LF16Mのch1でRemote Control Setup ListのNo.9を操作
LF16Mのch2でRemote Control Setup ListのNo.10を操作
以下同様に16までとなり 1台目のSetup ListのNoと重複してしまう。

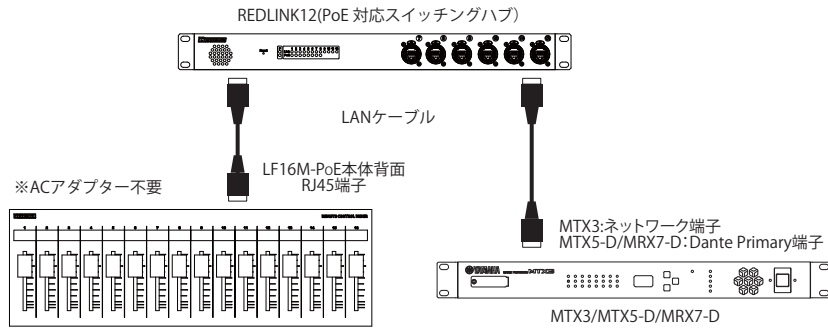


②No.9～16を操作することになり、
1台目のLF16Mと重複するので使用できない

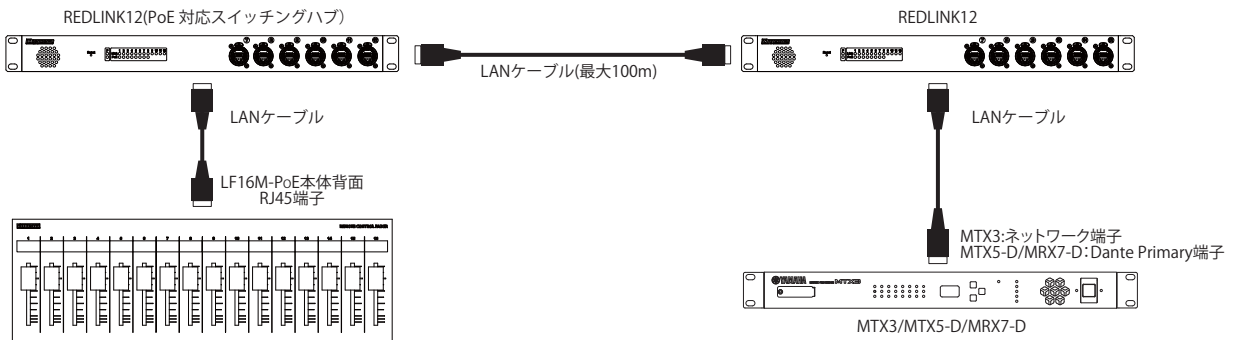
■基本接続



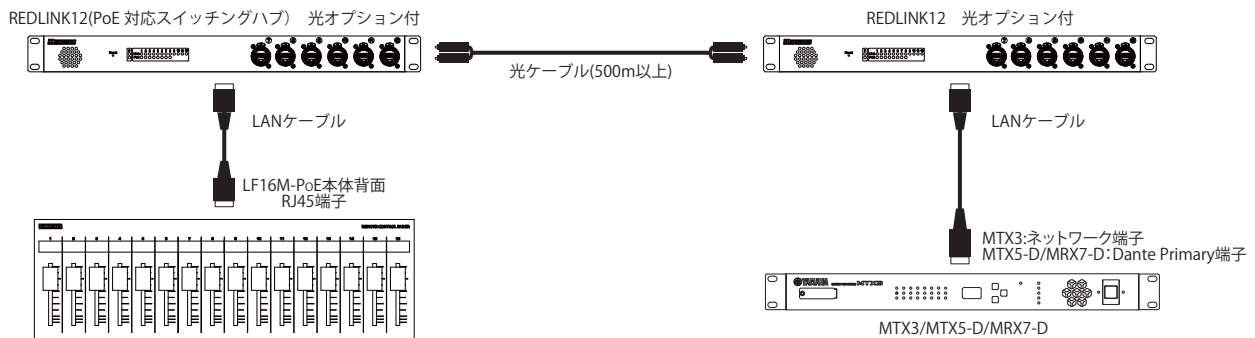
■スイッチングハブを使用した基本接続① (LANケーブル)



■スイッチングハブを使用した基本接続② (LANケーブル)



■スイッチングハブを使用した基本接続③ (光ケーブル)



■商品に関する注意事項

持ち運ぶ際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
 水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
 海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
 ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
 機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
 D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
 万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されており、保証書は添付されておりません。
 万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。
 また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ

有限会社デジコム

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15

TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386

E-Mail:info@e-digicom.co.jp

http://e-digicom.co.jp/